

---

## 第 8 回ワークショップ

# 「解体・リニューアルにおける自動化技術の将来展望」

---

主催：一般社団法人 日本建築学会 材料施工委員会 CA 技術小委員会

日時：2013 年 1 月 29 日（火）13:30～16:30

会場：建築会館会議室（東京都港区芝 5-26-20）

1970 年代に多数建設された高層・超高層ビルがこれから築 40 年をむかえ、解体・リニューアル需要が本格的に増加すると予想されるが、自動化・ロボット化技術の適用によりさらなる作業効率向上および安全性確保を図る必要がある。本ワークショップでは解体・リニューアル技術の最新の開発事例と、各社の新しい超高層ビル解体工法を取り上げて今後の方向性を探る。

開会の辞（13：30～13：35）

三浦延恭（国土舘大学）

1. 解体・リニューアル技術（13：35～14：35）

（司会）平林裕治（清水建設）

① 中低層ビルの新たな解体技術

後久卓哉（東急建設）

② 環境に考慮した切断技術

鈴木信也（戸田建設）

③ エレベスタカット隔壁工法の概要

中津 忠（大林組）

④ アスベスト処理関連技術

森 直樹（大成建設）

2. 日建連建築生産 IRT 委員会活動報告（14：35～14：50）

時岡誠剛（熊谷組）

休 憩（14：50～15：00）

3. 新しい超高層解体工法（15：00～16：25）

（司会）三輪明広（戸田建設）

①各社の概要説明

・QB カットオフ工法の概要

深谷茂樹（大林組）

・カットアンドダウン工法の概要

未定（鹿島建設）

・リバーズコンストラクションの概要と展望

奥山信博（清水建設）

・テコレップシステムの概要

上野 純（大成建設）

・ハットダウン工法の概要

西岡博之（竹中工務店）

②質疑応答

閉会の辞（16：25～16：30）

星野春夫（竹中工務店）

---

参加費：会員 1,500 円，会員外 2,000 円，学生 1,000 円（資料代含む，当日会場でお支払いください）

定員：70 名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=350> よりお申し込みください。

問合せ：日本建築学会事務局 研究事業グループ 浜田 TEL03-3456-2051